

情報種別：重要
会社名：株式会社 NTTデータ
情報所有者：株式会社 NTTデータ

プロダクトオーナー研修についてのご紹介

株式会社 NTTデータ

NTT DATA

研修概要

本研修は、ビジネス環境の変化が早い時代においてお客様のニーズにより早くITサービス・システムを提供できる人材を育成するためにNTTデータグループと楽天で共同で開発

【概要】

- ✓ アジャイル開発の代表的な手法である「Scrum開発手法」において、競争力のある、ビジネス価値の高いプロダクトを新規創出する役割である「プロダクトオーナー」育成のための研修です。
- ✓ これまでのアジャイル開発手法の研修のみならず、アジャイル開発におけるプロダクトオーナーの責任や役割、振る舞いを理解・習得した人材を育成することで、ビジネス環境の変化に迅速かつ柔軟に対応可能なソフトウェアの開発を実現できる人材の創出を目指します。

【到達目標】

- ✓ Scrum開発手法におけるプロダクトオーナーの役割と振る舞い、責任について理解する。
- ✓ ビジネス価値の高いプロダクトを迅速かつ柔軟に開発する手法を、体験を通じて理解する。
- ✓ 自組織の新規ビジネスの創出業務にプロダクトオーナーとしてのスキルを活用できる人材を育成する。

【対象者】

- ✓ システムやサービスの企画をマネジメントする方
- ✓ システムやサービスの企画を実施する方

学習項目

Sprint1: Scrum & Product Ownership

Sprint2: What is Product Discovery

Sprint3: Define Ideas & Identify Measurable Goal

Sprint4: Understand User Experience

Sprint5: ユーザーストーリーマッピング

Sprint6: プロトタイピングとデザインスタジオ

Sprint7: リリース戦略

Sprint8: Iterative and Incremental Delivery

Sprint9: Evaluate Product

ビジネス部門様

- ・体系的に整理ができた。すぐにでも業務に取り入れようと思う。
- ・ビジネス部門と開発部門の共通プロトコルとして使えると思った。
- ・アジャイル開発のスピーディさとユーザー目線がよく分かった。
- ・短期開発において、考え方やまとめ方をすぐに応用できそう。

情報システム部門様

- ・ユーザー視点でサービス提供する重要性を意識することができた。
- ・プロダクトバックログの優先順位に不満をもつこともあったが、プロダクトディスカバリーを実践することで解決できると感じた。
- ・企画部門と開発部門との連携強化に役立つと思う。

受講者様の声

研修名

プロダクトオーナー研修

目的

Scrum開発手法におけるプロダクトオーナーの役割を理解した上で、ビジネス価値の高いプロダクトを迅速かつ柔軟に開発する手法を体得する

開催概要

研修内容

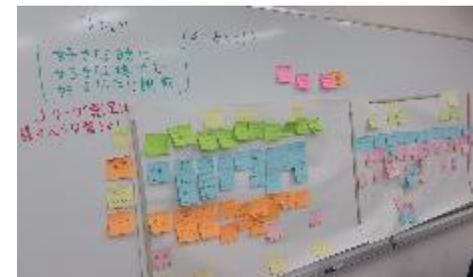
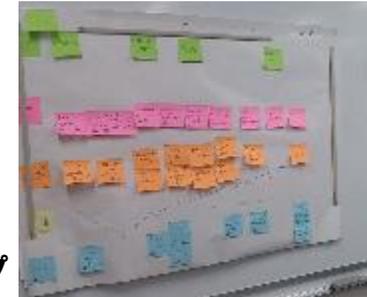
		項目	主な学習項目
1日目	AM	サービス創出テーマの発掘	【演習】・ペアインタビュー 【演習】・他己紹介
		Scrum、及びプロダクトオーナーの概要	・プロダクトオーナー(チーム)の役割とスキル
		Product Discoveryの概要	・Product Discovery策定の背景と実施プロセス
PM		アイデアの明確化と測定可能な目標の設定	・プロダクトのビジョン、アイデアの仮説構築 【演習】・Lean Canvas 【演習】・トレードショー
		ユーザ体験の理解	・ユーザ行動のモデリング 【演習】・プラグマティックペルソナ 【演習】・エクスペリエンスジャーニーマップ
2日目	AM	ユーザストーリーマッピング	・ユーザ体験の向上と、それを実現するプロダクト機能のデザイン 【演習】・ユーザシナリオ 【演習】・ユーザストーリーマッピング
		プロトタイピングとデザインスタジオ	・プロトタイプとユーザテスト 【演習】・シックスアップテンプレート 【演習】・デザインスタジオアプローチ
	PM	リリース戦略	・リリース計画の策定 【演習】・ユーザストーリーマップのスライス
		プロダクトの評価	・仮説検証サイクルの振り返り(コホート分析、404テスト、A/Bテスト)



Lean Canvas



エクスペリエンス
ジャーニーマップ



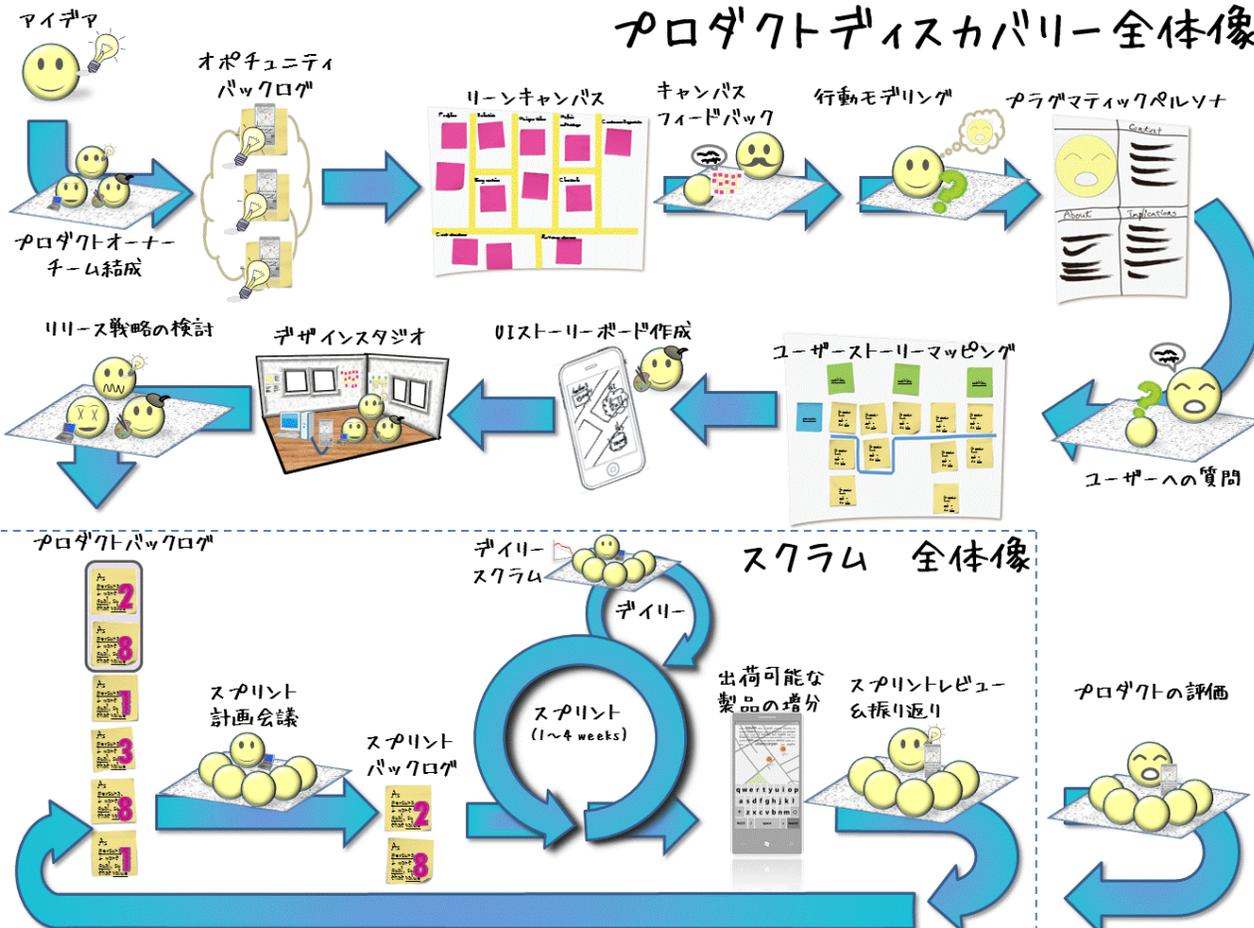
ユーザストーリー
マッピング

【参考】プロダクトディスカバリー全体像

本研修ではプロダクトディスカバリーの一連のプロセスを講義・実践演習での体験を通じ、「プロダクトオーナー」の育成を行っていくことを目的としております。

プロダクトディスカバリー全体像

アウトプットイメージ



- ✓ リーンスタートアップ、デザイン思考など、サービス開発分野で取り入れられている手法をベースに開発した、Agileにおける企画フェーズプロセス
- ✓ 昨今、サービスの成否を左右する、ユーザーエクスペリエンス(UX:ユーザ体験)を重視しつつ、迅速性を重視するために軽量化したプロセス
- ✓ 仮説検証を頻繁に行い、不確実なビジネス環境下でのリスクを低減

ディスカバリー

3つの質問に答える

- ✓ 顧客はプロダクトを購入/導入するか？
- ✓ 顧客はプロダクトを利用してくれるか？
- ✓ 我々はプロダクトを作ることができるか？



デリバリー

開発を実行する

- ✓ 計画の詳細化
- ✓ 設計、実装、テスト
- ✓ 進捗モニタリング
- ✓ 品質の評価
- ✓ 仮説の検証
- ✓ フィードバックと学習

Scrum研修

実践シリーズ!! アジャイル開発入門

～Scrumで学ぶリーダーシップ発揮術～

- ・アジャイル開発手法の代表的な手法の一つである”Scrum開発手法”の研修です。
- ・Scrum開発手法のフレームワークに関する講義や実践演習、自組織へ導入するためのグループ討議を通じて、多様なビジネスニーズにマッチする最適なスキルを習得します。

達成目標

- ✓アジャイル開発プロセス、特にスクラムにおける基本的な考え方を体感的に理解し、現場の業務改善とチームマネジメント/リーダーシップ発揮に役立てることができる。
- ✓アジャイル開発プロセスにおける歴史と考え方を理解する。
- ✓Scrumにおけるルールを説明できる。
- ✓Scrumにおけるプロセス制御のためのプラクティスを説明できる。
- ✓Scrumにおける成果物とその利用法を説明できる。
- ✓Scrumのプロジェクトの透明性を高める考え方と手法を説明できる。
- ✓既存プロジェクトを改善できるポイントを例示することができる。

アジェンダ

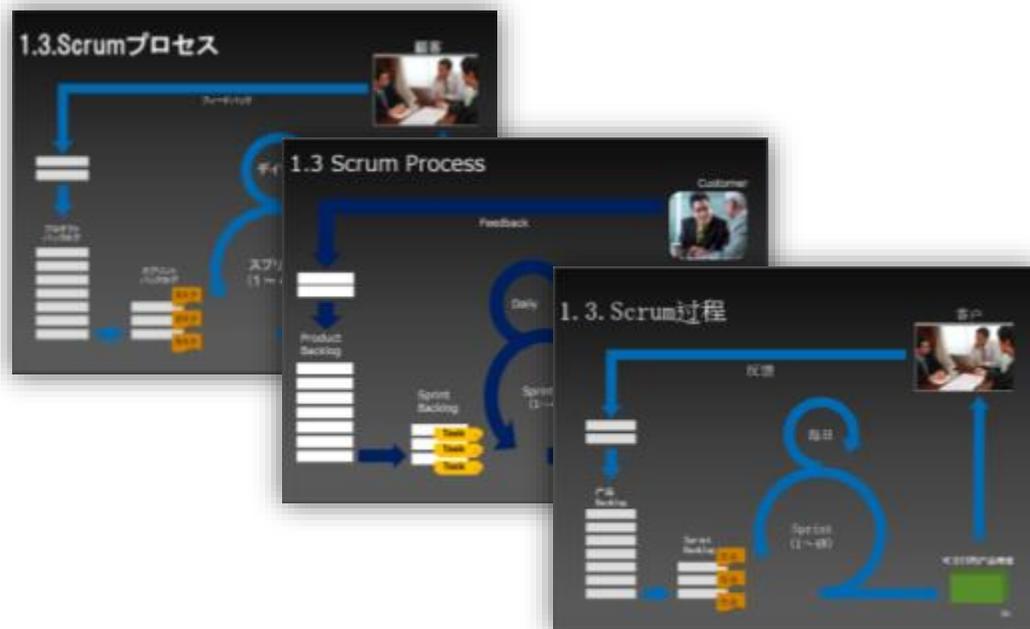
- 【講義】アジャイル開発手法の概要
- 【講義/演習】Scrumにおけるチームと役割
- 【講義/演習】Scrumにおけるプロセスとその制御
- 【講義/演習】Scrumにおける成果物
- 【講義】Scrumにおけるコミュニケーションと情報の透明性
- 【演習】振り返り

対象者

- ・Agile/Scrumを俯瞰的に理解したい方
- ・システムやサービスの開発をマネジメントする方
- ・システムやサービスの開発を実施する方

所要期間

1日間



3ヶ国語(日本語・英語・中国語)で研修を用意しています